
生きて～愛した人への言葉～

季羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生きてゝ愛した人への言葉

【Nコード】

N2218U

【作者名】

季羅

【あらすじ】

ある事故により死んでしまったユリナ。

ユリナを失った事により自分も死のうと考える総太。

総太を死なせないため。

ユリナの魂は蘇る！！

蘇れ命

何を求める？何を愛する？君が望んだモノは一体なんなんだい？

??「私が望んだのは…。愛する人を守る力」

何が足りない？何が欲しい？どうして君はそれを求めるの？理由は何？

??「ただその人を守りたいから。ただ足りない力が…勇気が足りない。」

それを得たら君はどうなるの？

??「役目を終える。やり残した事を終わらせる事が出来たら私がいる意味が無くなる」

君は何を残したの？誰に何を与えたいの？

??「大好きなあの人に…。生きる力を…教えるその役目を忘れた。」

君の名は？愛する人の名は？

??「私は……………」

さあ答えよ！！

ユリナ「私は斎藤ユリナ。愛する羽柴総太に幸せを生きる意味を…

力を教えるため。今この世に蘇る!!」

（総太……。今会いに行くから。笑って私を待っていてほしい。）

今からそなたに与えられた時間を存分に使うがよい。そしてその役目を終え、ここに帰って参れ!!

あの日私はこの世から飛び立った。

愛した人を置いて…私は離れた。

だから私はもう一度戻らなければならない

実体が無いとしても…。

私は総太に生きる意味を教えなければ。

そうしたら総太は笑えるよね？

ねえ総太……。もう一度笑って欲しい。

生きて……………総太。

??「総ちゃん…いい加減にしろよ。いつまでたってもユリナは還らないんだよ。待ったって無駄なんだから!!」

??「千尋!!言い過ぎだ。」

千尋「だって…総ちゃんは長いよ!あたしだって信じたくないよ。でも受け止めなきゃ還ってこないって割り振らなきゃ…。」

総太「悪い…。優…千尋を連れて帰ってくれないか。一人で考えたい。」

優「分かった。行くぞ」

俺の愛した彼女…。斎藤ユリナは先週どこかへと消えて逝った。どれだけ飛行機で行っても逢えることのない。遠くへ…。

さようならもありがとうもまたねも何も無しに…突然消えた。

前まで笑っていた。笑顔だった。俺の大好きなままの…優しいユリナだった。

なのに次に会った時はぐっすり眠っていた

総太「ユリナ！！ユリナ！！目開けるよ。」

千尋「ユリナ！！ユリナ！！」

どんなに呼んでも…。

総太「ユリナ…起きろって。」

どんなに抱きしめても…。

千尋「…嫌だ。あたしは信じない。」

優「千尋…。」

千尋「あたし達親友だよ？だから勝手にいなくなったりしないの…。そうでしょ？優」

どれだけ人が泣いても…。

ユリナ母「…三人ともありがとう。」

ユリナ父「ユリは幸せ者だな。」

どれだけ褒めても…。

総太「何が幸せ者だ…。これのどこが。」

どれだけ怒っても…。

その体が動く事はなかった。

優「ユリナ笑ってるなあ。可愛い奴だ。」

総太「……笑ってる？どこが……。」

俺は全てを拒絶した。ユリナのいなくなったこの世界の全てを…。
俺は生きる意味を失った。

総太「いつその事…死んでしまおうか。」

それが一番の……幸せと思ったから。

だけど体は自分の死を許してはくれなかった。生きろと言っていた。

ユリナ（総太……。生きて。）

私はあなたを支える。

総太を生かしてみせるから。

役目は果たす。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2218u/>

生きて～愛した人への言葉～

2011年10月9日05時09分発行